

株式会社ベクター(証券コード:2656)

競争戦略

当社はインターネットを通じて多くの人々の生活が「より便利に、より楽しく」なるサービスを創造することをモットーに経営を展開しております。

環境の変化が激しく複雑化し事業の継続性が不確実な中、当社は、「SDGs (*1)」や「DX戦略(*2)」といったテーマのもと、継続性のある事業への転換を図り、収益の改善及び向上を目指します。

当社では、インターネットビジネスが当社のコア・コンピタンスであることを再認識し、経営資源を最大限に活用して、新規事業の構築や時代に即したサービスへのシフトによる収益機会の多様化を図り、企業価値の向上を通して、株主の皆様の期待に応えるべく努力してまいります。

(*1) SDGs=「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称

(*2) DX戦略=企業が競争力を維持・強化するために、デジタル技術を活用した製品・サービス等を創出するための行動計画とアプローチのこと

経営課題

主要事業である「ソフトウェア買い切り型ダウンロード」の市場は、法人個人ともに、以下のような著しい技術進化に伴い事業環境が変化し、競合のみならず異業種間における競争戦略立案、実行の必要性に迫られています。



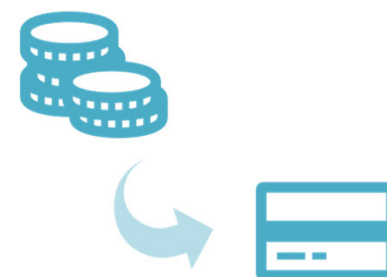
SaaSプロダクトの発達

ソフトウェアダウンロード
の機会の減少



AI、ブロックチェーン技術
メタバース空間等技術発達

優れた技術への
キャッチアップの遅れ



技術進化による決済手段の
多様化、通貨概念の進化

サービス・プロダクトの
バリエイティ不足

競争戦略立案

これまで培ってきたコア・コンピタンスである「WEBダウンロードサイトとしての認知度」「技術提供者のネットワークの存在」を最大限に活用し、保有技術を武器として、事業環境の変化や進化に即した競争戦略を立案、実行いたします。

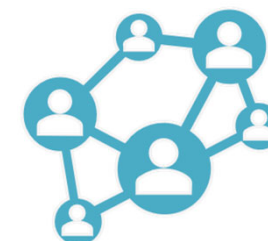
事業環境の正しい把握と認識



コア・コンピタンスの再認識



市場の認知度は
まだ衰えていない



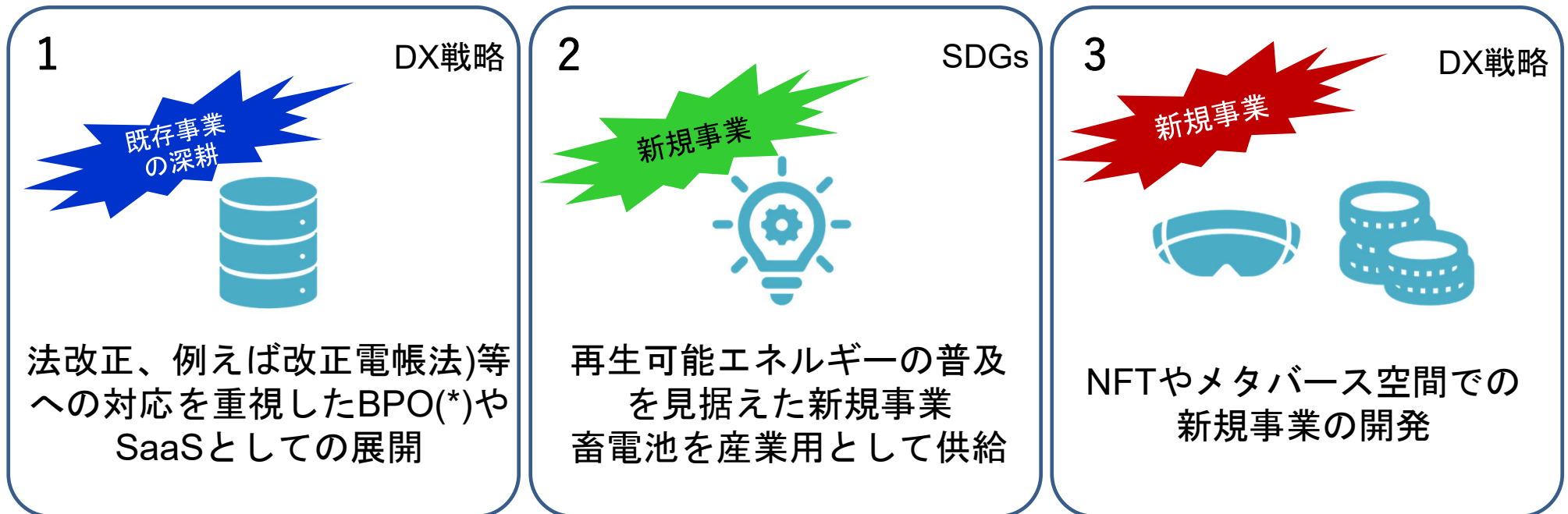
技術へのキャッチアップは
ネットワークの活用が可能

『既存事業の維持』 → 『新規事業、サービスへのシフト』

インターネットソフトウェア販売業は、当面、維持・継続を目指す。
事業衰退を視野に、新規事業の構築、新サービスの進化、シフトを図る。

競争戦略概要

1. WEBダウンロード市場におけるECサイトとしてのポジショニング
2. SDGs、再生可能エネルギー普及に貢献するため産業用蓄電池ビジネス
3. 競争優位性のある技術者を活用したNFTやメタバース空間でのビジネス



(*) BPO=Business Process Outsourcing」の略で自社の業務プロセスを外部の専門企業に委託すること。今回株主となったイーグルキャピタルの関連会社税理士法人イーグルの顧客へのソフトウェア提供や帳簿ソフトの導入の販売、コンサルティング委託等

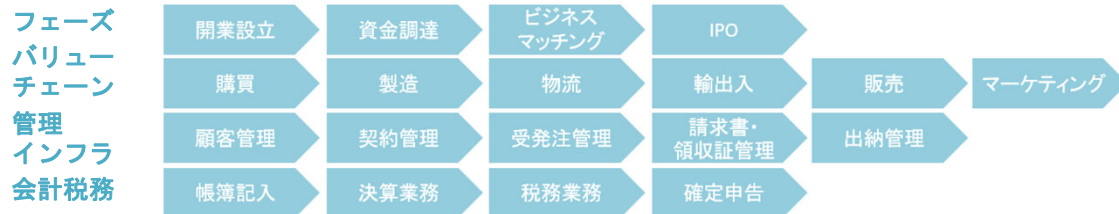
1.既存事業(SaaSへの進化やBPO推進)1/2

- ・コア・コンピタンスを深掘りSaaSへと速やかに進化
- ・中小零細企業や個人事業の新たな信用スコアリングの世界を構築
- ・最終的に多様な資金調達の途を提供できるよう支援

企業活動におけるあらゆるシーンのSaaS化



現状のトラストサービス強化
(料金体系を含め検討)



中小零細・個人事業に至るまで業務の全てをSaaS提供
直近の改正電子帳簿保存法などにも即座に対応

最終的なあるべき姿



新たな信用スコアリングを構築
事業予測のAI化

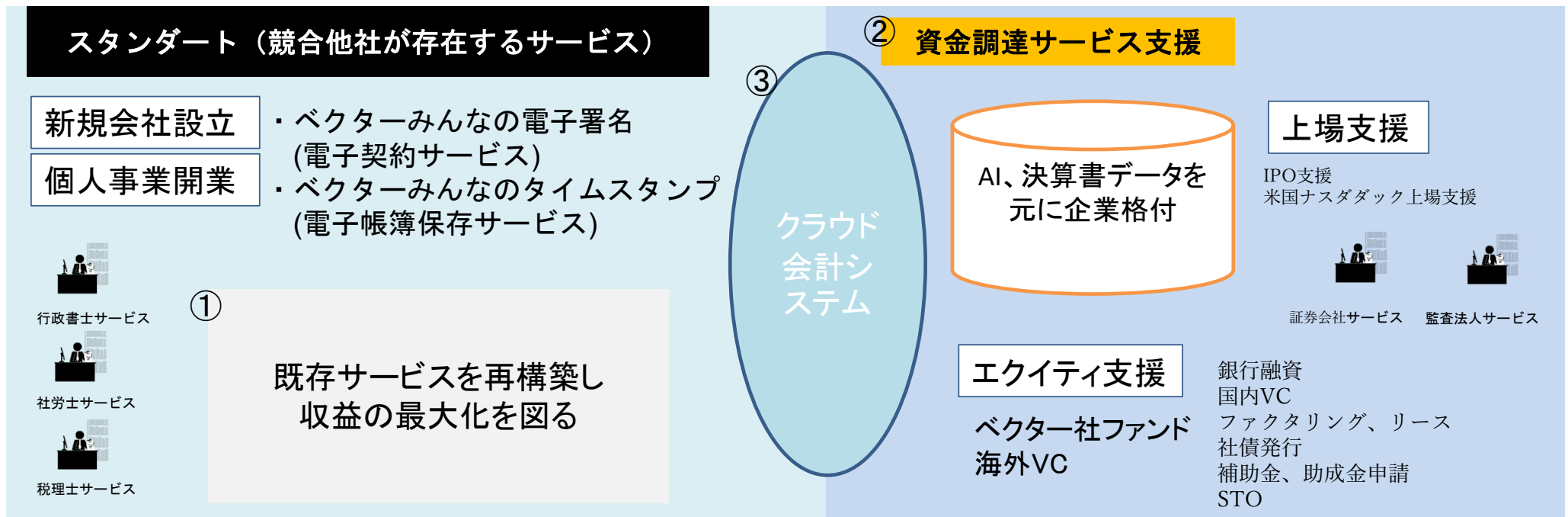
それに基づく資金調達の支援

「ベクター・トラスト・サービス」

事業において監修税理士協力の下
「中小企業のDXを進める」ことを
目的に新たに会計サービスを開発

1.既存事業(SaaSへの進化やBPO推進)2/2

- ① 国内既存サービスの強化
- ② 海外投資家とのマッチング、海外上場サービスの開発
- ③ クラウド会計システムの開発



2.新規事業(再生可能エネルギーの普及) 1/3

SDGsの取組みとして、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーと省エネルギーを推進することで、化石燃料に頼らない「脱酸素社会」の実現を目指しインターネット環境に影響を及ぼし、不安定な電力供給を安定させることで社会に貢献することを目指します。

PEST (*)

Politics

Economics

Social

Technology

社会的課題

- 供給電力が不安定
- 再生可能エネルギーが減少傾向

求められる姿勢

- FITに頼らない発電所の運営
- 温暖化の進行を防ぐ
- グリーンエネルギーの確保
- 電力の安定供給

取組み施策

- 太陽光発電所の適正な運営
- 蓄電池による電力の供給適正化(安定化)

(*) Politics、Economics、Social、Technologyの4つの側面で

2.新規事業(蓄電池の取組み) 2/3

WEBダウンロード市場としての認知度を大いに活用し、再生可能エネルギー、特に太陽光発電施設を運営・運用するメガソーラーに対するマーケティングや販売戦略を優位に進めて行くことを想定。

太陽光発電システムのエネルギー課題と効率向上施策

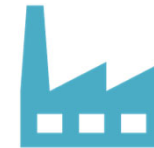


- ・ 太陽光発電が普及
- ・ 蓄電への取組開始
- ・ 夜間のエネルギー効率が依然課題



- ・ 産業用太陽光発電施設に付随する蓄電池を専門に製造する技術の着目

技術取り込みの戦略オプション



技術を保有する企業との
資本業務提携やM&A

2.新規事業(太陽光発電所の運営、研究)3/3

自社太陽光発電事業所の運営・および研究

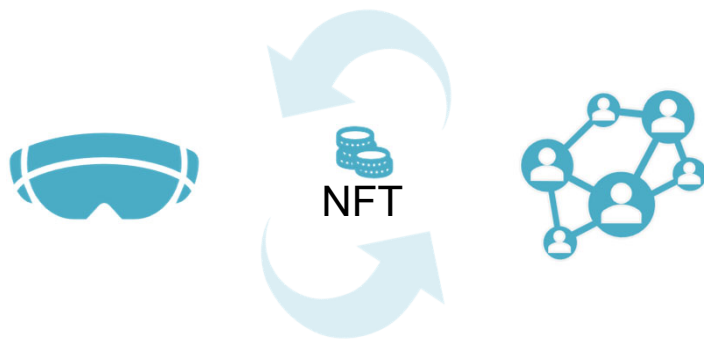
自社にてFIT制度を適用したセカンダリー（完成済み太陽光発電所売買）案件の購入、運営、および既存太陽光発電事業における課題についての研究を行い商品・サービスなどを開発する。

次世代に向け、FIT制度に頼らないノンフィット案件の研究および開発を行う。

3.新規事業(メタバース空間やNFTの利活用)

WEBダウンロード市場をメタバース空間に再活用させ、市場での売買をNFTなどを通じて、更なるコンテンツライセンスビジネスへの進化を目指します。

メタバース空間の提供や権利の獲得と販売



現在のWEBダウンロード市場をメタバース空間として開放・提供、また既存の技術者のネットワークもこの市場の中で試験的に技術を提供

- ・ 特別な空間や技術を提供
- ・ 消費に対するライセンス（権利）の管理、NFT化を目指す

技術を保有する企業との
資本業務提携やM&A

競争戦略構築のロードマップ

